



檜山地本通信

2014年の運動方針決まる

道本部第55回定期大会行われる

自治労北海道本部第55回定期大会が9月26日、27日の2日間、札幌市・札幌コンベンションセンターで開催され、2014年度の運動方針を決定した。

大会には、9単組総支部24人が参加。



山上執行委員長が、「アベノミクスの効果や副作用を見極めて、たたかいを展開していきたい。」とした上で、政治課題、賃金確定闘争に触れあいさつ。また、氏家中央本部執行委員長、あいしらはら参議、前道議、横路民主、北海道代表らも連帯のあいさつをした。本大会では、この4年度の運動方針

交渉力強化をめざし道南医療ナースアクション

例年開催している道南医療ナースアクション（主催・道南医療）が9月7日、乙部町で開催され、39人（うち檜山2単組総支部7人）が参加した。



道本部・谷川さん

集会では、教宣活動の推進、交渉力強化を主題に開催。

教宣活動については、自治労北海道本部谷川広美教育情宣部長が、機関紙の重要性を説いた上で作成上の注意点について講演した。

また、交渉力強化については、連合函館地協山田幸光組織部長が講師となり、実際に模擬団交を実施しながら交渉の進め方について学習した。



山田幸光さん



模擬団交の一幕



監査に選出された民庫谷川さん（江差町職務）

（案）、当面の闘争など、組織強化の拡大第12次長期計画の削減や政治闘争など30本の質疑討論案が承認された。承認された上で、大会採択した上で、大会を終了した。

なお、本大会の役員選挙において、監査委員として兵庫谷川さん（江差町職務）が選出された。



作家の鎌田慧さん

泊原発の再稼働に反対する「STOP泊原発」の再稼働！北海道さようなら原発10万人アクション北海道実行委員会が岩内町で開催され、北海道各地から1500人、檜山地本から23人が参加。

集会には、呼びかけの一人である鎌田慧さんが参加した。

自治労北海道檜山地方本部
第18回定期大会
2013年11月2日(土)
13:00受付 13:30開始
場所 江差町ホテルニューえさし
(檜山郡江差町新地町56)

今後の予定

10月19日 第9回単組総支部代表者会議
第8回執行委員会(江差町)

10月27日 おおさか誠二政経セミナー
(函館市)

11月2日 檜山地方本部第18回定期大会
(江差町)

11月2日 町村職員連絡会学習会
(札幌市)

11月16日 檜山地方本部青年婦人部
第18回定期総会(乙部町)

道本部集会はすべて札幌市内で開催
予定は変更となる場合があります。

放射能物質に見立てた風船を大空へ

STOP泊原発再稼働！さようなら原発北海道inいわい



岩内町内をデモ行進 大空に向け風船を

脱原発・エネルギー政策の転換を

自治労

加し、「私たちの運動が小泉元首相の良心を動かして、「脱原発」を言いつながった。

私たちが力が自民党をも動かし、脱原発という希望を強めるのがこの集会。もっと大胆に地域と話し合い運動を強めよう」と呼びかけた。

また、「泊原発風船プロジェクト」を通して、風船を放射能物質と見立てて放射性物質の実態や原発問題の

意識向上をはかるため約千個の風船を参加者全員で大空へ飛ばした。

その後、脱原発を訴えて岩内町内をデモ行進した。